



はだ 羽田 だすけ 水曜会 (60分) 俊介

世界バラ会議福山大会は

問 本市ならではの大会の特色は。

答 市民との協働で「100万本のばらのまち」となった本市のばらのまちづくりは、戦後復興と平和の象徴である。市内に400カ所以上ある、市民がお世話をするばら花壇を巡り、福山でしか体験できない市民と参加者との交流の機会をつくりたいと考える。福山城周辺や鞆の浦などで日本の伝統文化を体験できるプログラムも検討している。



駅北口より福山城を望む

外国籍クルーズ船の受け入れは

問 本市の対応は。

答 国土交通省が国際クルーズの再開を発表した。本市では4月の鞆沖への寄港のほか年間4回の寄港が予定されている。県などと連携し寄港時における新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアルを作成するなど安心・安全な環境を整え、受け入れる。



つかもと 塚本 ひろそう 公明党 (40分) 裕三

2023年度の予算編成は

問 財源見通しの内容は。

答 歳入は、臨時財政対策債の減少などから今年度を下回ると見込み、歳出は、原油価格、物価高騰の影響による光熱費の増加などにより今年度を上回ると見込む。現時点で約42億円の大幅な財源不足が見込まれる。



福山市役所本庁舎

公共施設等サービス再構築基本方針は

問 公共施設サービスの維持は極めて重要な課題だが、そのための取り組みは。

答 ハコモノでは30年間で20%の縮減目標、インフラ施設では30年間で4100億円の縮減目標を設定している。国の統一的な基準に基づき、固定資産台帳や貸借対照表、行政コスト計算書などの財務書類を作成している。目標達成に向け個別施設計画を基に計画的に進めていく。



さらがい くみこ 公明党 (45分) 久美子

医療的ケア児の支援は

問 ①昨年度実施された、通学に係るモデル事業の具体と課題は。  
②医療型ショートステイの必要性は。

答 ①日常的に送迎している方のご協力で、障がい福祉サービス事業所の状況把握などを行った。事業所の多くは、看護師不足などの理由から移動支援に対応ができず、支援が可能な事業所でも、急な送迎依頼への対応は困難であった。こうした課題も踏まえ、通学時の支援の在り方を検討する。  
②利用者ニーズは年々高くなっている。受け入れ施設の拡充に向け検討を進める。

ストリートピアノの設置は

問 今後の展開は。

答 ばらのまち福山国際音楽祭のPRを兼ねた演奏会の実施やSNSなどを活用した情報発信により、知名度向上に努める。



本市のストリートピアノ